

- 新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ -

4月1日から本県の警戒レベルを「感染警戒期」に切り替えたところですが、県内の新型コロナウイルス検査の陽性者数は依然として多い状況が続いています。引き続き、不織布マスクの正しい着用やこまめな手洗い、手指消毒、定期的な換気といった基本的な感染予防対策を徹底しましょう。発熱や咳に限らず鼻水や喉の痛み、倦怠感など、軽い風邪のような症状であっても症状のある方は必ず人との接触を避け、かかりつけ医等の身近な医療機関や「受診相談センター (089-909-3483)」へ事前に電話相談し、案内に従って受診してください。詳しくは県ホームページをご確認ください。『愛媛県ホームページ 新型コロナウイルス感染症に関する情報』⇒



発生動向の概況

RSウイルス感染症の定点当たり報告数は、第12週 1.2人から第13週 0.6人と減少しました。地域別にみると、今治保健所では多い状況が続いており、過去10年の同時期と比較して最も多くなっています。この疾患は、2歳以下の乳幼児を中心に流行し、主な症状は発熱や鼻汁、咳などですが、特に6ヶ月未満の乳児では重症化することがあります。感染予防のため、液体せっけんとう流水での手洗いを励行しましょう。

梅毒の届出が9例(第11週分含む)ありました。県内の2022年累計届出数は34例と、過去5年の同時期と比べ最も多くなっています。この疾患の病原体は梅毒トレポネーマで、大部分は性行為により感染します。検査や治療が遅れたり、治療せずに放置したりすると脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあります。早期発見のため、不安のある方は県内各保健所で実施している電話相談や無料匿名検査をご利用ください。また、梅毒に感染したと分かった場合は、周囲で感染の可能性のある方(パートナー等)にも検査を勧め、必要に応じて一緒に治療を行うことも重要です。

県内での感染症発生状況

全数把握感染症 ※医療機関からの届出数を集計したもので、集計日以降の報告は次回以降に反映されます。

- 二類感染症 : 結核 7例
- 三類感染症 : 腸管出血性大腸菌感染症 1例 (90歳代男性)
- 四類感染症 : レジオネラ症 2例 (70歳代男性、80歳代女性)
- 五類感染症 : カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例 (70歳代男性)
- 水痘 (入院例) 1例 (30歳代男性)
- 梅毒 8例 (20歳代男性3例、30歳代男性2例、40歳代男性、20歳代女性、40歳代女性)
- 百日咳 1例 (30歳代女性)

新型インフルエンザ等感染症 : 新型コロナウイルス感染症 3,125例

*その他、梅毒の届出が第11週に1例、新型コロナウイルス感染症の届出が第5週に1例、第9週に4例、第10週に34例、第11週に31例ありました。

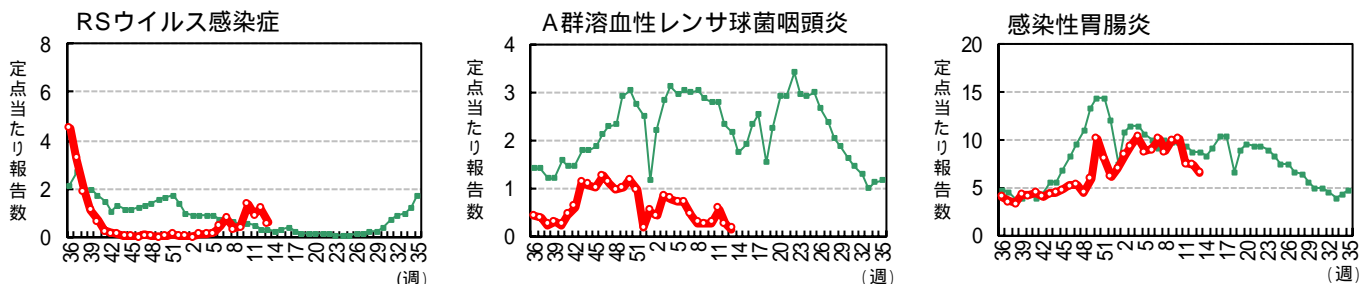
定点把握感染症 (数字は最新週の定点当たり報告数)

疾病名	愛媛県推移	県内の傾向
RSウイルス感染症	0.6	減少。今治保健所で多い。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.1	横ばい。
感染性胃腸炎	6.8	減少。

解析評価委員のコメントから

- RSウイルス感染症 : [東予] 今治市ではやや減少しましたが、まだみられています。
[中予] わずかに報告がありました。 [南予] 報告はありません。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 : [東予] 少ないです。 [中予] ほとんど流行っていません。 [南予] 報告はありません。
- 感染性胃腸炎 : [東予] まだみられますが、やや減少しました。 [中予] 横ばいです。
[南予] 相変わらず多数発生しています。

過去30週の動向 (—○— : 過去30週の動向、—■— : 過去10年の平均)



(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所単位での集計で、患者の住所によるものではありません。
感染症情報に関するご意見、ご質問は eikanken@pref.ehime.lg.jp までお願い致します。

病原体検出情報

令和4年4月5日現在

- 第9週に今治で採取された感染性胃腸炎患者検体からノロウイルス（G）が1例検出されました。
ノロウイルスは、嘔吐、下痢、腹痛などの急性胃腸炎症状を起こし、秋口から春先にかけて発症者が多くなります。主な感染経路は、食品や、感染者のふん便、吐物に汚染された調理器具等を介した経口感染です。食品からの感染を防ぐには、85以上の高温で1分以上の加熱が必要です。また、感染者の吐物等で汚染された物品の消毒には、次亜塩素酸ナトリウムが有効です。感染予防のため、調理・食事の前、トイレの後は、液体せっけんと流水で十分に手洗いをしましょう。

ノロウイルスについては県ホームページをご確認ください。『ノロウイルス感染症』 ⇒



- 第11週に今治で採取された感染性胃腸炎患者検体でノロウイルス（G）とサポウイルスの重複感染が1例確認されました。

サポウイルスは、感染性胃腸炎の原因ウイルスの一種で、嘔吐、下痢、発熱を引き起こします。汚染された食品や水、感染した人のふん便等を介して感染すると考えられ、集団食中毒の原因となることもあります。感染予防のため、食品は十分加熱し、液体せっけんと流水での手洗いを励行しましょう。

県内の感染性胃腸炎の流行状況については県ホームページをご確認ください。⇒
『感染性胃腸炎の流行状況（2021/2022シーズン）』



過去5週 検出病原体

（2022年2月28日以降採取検体）

週	採取期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検体	例数
9	2/28～3/6	今治	感染性胃腸炎	ノロ	糞便	1
11	3/14～3/20	今治	感染性胃腸炎	ノロ・サポ	糞便	1

月別病原体検出結果

検体採取月		2021		2022				合計
検出病原体		11	12	1	2	3	4	
ウイルス	コクサッキーA6	8	2					10
	ライノ	1						1
	ノロ		2		1	2		5
	サポ					1		1
	アデノ37			1				1
ウイルス計		9	4	1	1	3		18
細菌	A群溶レン菌		1					1
細菌計			1					1

臨床診断別検出結果（2022年2月以降採取検体）

検出病原体	感染性胃腸炎	合計
ノロ	3	3
サポ	1	1
ウイルス計	4	4

注）表中の検出数は4月5日集計分であり、その後の検出結果は次号以降に反映されます。
咽頭ぬぐい液にはうがい液・鼻汁・鼻腔ぬぐい液等を含んでいます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2022年 第13週 (2022.3.28 ~ 4.3)

	インフルエンザ定点			小児科定点										眼科定点		基幹定点									
	1)			RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2)		3)		4)		1)		
	インフルエンザ	迅速検査A型	迅速検査B型														ロタウイルス胃腸炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎			インフルエンザ(入院)	
患者報告数																									
保健所別	四国中央							13						1	-	-									四国中央
	西条							52								1									西条
	今治				21			18		1	2	3	1		1									今治	
	松山市					1		98	1			2			3	-	-	-	-	-	-			松山市	
	中予				1			19		1		2												中予	
八幡浜								23				1			1									八幡浜	
	宇和島							21				2			1									宇和島	
愛媛県				22	1	5	244	1	2	2	12		2		7									愛媛県	
週推移	1週前			44	2	9	275				9		1											1週前	
	2週前	1		34	1	21	278	3			16		1		3									2週前	
	3週前	2	2	50	2	10	375		1		12		1		5									3週前	
年齢別	0-5ヶ月			2			2				1													0	
	6-11ヶ月			4			11		1	1														1-4	
	1			5			32		1		6													5-9	
	2			4	1		38				1													10-14	
	3			5		2	38				3													15-19	
	4			2			23																	20-24	
	5						26				1		1											25-29	
	6						16					1												30-34	
	7						12																	35-39	
	8						1							1										40-44	
	9						1								1									45-49	
	10-14						16																	50-54	
	15-19						4								1									55-59	
	20-29 ⁵⁾						9		1						3									60-64	
30-39																							65-69		
40-49														1									70-		
50-59																									
60-69																									
70-79 ⁶⁾																									
80-																									

定点当たり報告数

保健所別	四国中央	-	-				4.3						.3	-	-									四国中央
	西条	-	-				8.7				.3				1.0									西条
	今治	-	-	4.2			3.6		.2	.4	.6		.2		1.0									今治
	松山市	-	-		.1		9.8	.1			.2				1.0	-	-	-	-	-	-			松山市
	中予	-	-	.3		1.3	4.8		.3		.5													中予
八幡浜		-	-				5.8				.3			1.0									八幡浜	
	宇和島	-	-				5.3				.5			1.0									宇和島	
愛媛県	-	-	.6	.0	.1	6.8	.0	.1	.1	.3		.1		.9									愛媛県	

- 1) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。
 2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。
 3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。
 4) オウム病を除く。
 5) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。
 6) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。
 *インフルエンザ患者のうち、迅速検査の結果が報告されたもののみ集計(A型・B型の合計数は必ずしも患者数と一致しませんのでご注意ください)。

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	中 予	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は4月6日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

注2) 今週は休診により1機関からの報告がなかったため、松山市保健所のインフルエンザ・小児科定点数はそれぞれ16・10となっています。

全国 定点把握感染症 2022年 第11、12週 (2022.3.14 ~ 3.27)

(定点当たり報告数)

	1)	小児科定点										眼科定点		基幹定点					
		インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) ロタウイルス胃腸炎	3) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	4) クラミジア肺炎
11週	愛媛県	.0	.9	.0	.6	7.5	.1			.4		.0		.4					
	近畿県	香川県				.3	5.4	.0	.1	.6									
		徳島県		.0		.1	2.6			.0	.3								
		高知県			.1	.2	3.1	.1		.1		.1			.1				
	全国	.0	.2	.1	.3	3.6	.1	.1	.0	.3	.0	.0	.0	.1	.0	.0	.0	.0	
	北海道		.4	.1	.5	.8	.1	.0		.1	.0	.0						.0	
	東北		.1	.1	.3	2.8	.1	.0	.0	.3	.0	.0		.1		.0			
	関東	.0	.0	.0	.1	3.7	.1	.0	.0	.3	.0	.0		.1		.1	.0		
	甲信越北陸	.0	.3	.2	.4	3.4	.1	.2	.0	.2	.0	.0	.0	.0	.0				
	東海	.0	.2	.1	.3	3.6	.1	.0	.0	.2	.0	.0		.1					
	近畿	.0	.1	.1	.2	2.6	.0	.0	.0	.2	.0	.0		.1		.0			
中国四国	.0	.2	.1	.4	4.3	.1	.1	.0	.3	.0	.0	.0	.1	.0	.0				
九州沖縄	.0	.5	.2	.5	5.3	.1	.2	.0	.5	.0	.0		.3	.0	.0	.0			

(3.23集計)

12週	愛媛県		1.2	.1	.2	7.4			.2		.0								
	近畿県	香川県			.1	.1	4.3	.0		.0	.5	.0		.2		.2			
		徳島県		.0		.0	2.1			.3									
		高知県			.1	.1	2.2			.1									
	全国	.0	.1	.1	.2	2.8	.1	.1	.0	.3	.0	.0	.0	.1	.0	.0	.0	.0	
	北海道	.0	.4	.1	.3	.9	.1	.0		.1		.0	.0						
	東北		.1	.1	.2	2.2	.1	.0	.0	.3	.0	.0		.1		.0			
	関東	.0	.0	.0	.1	2.9	.0	.0	.0	.2	.0	.0	.0	.1		.0	.0	.0	
	甲信越北陸		.1	.1	.3	2.5	.1	.2	.0	.2	.0	.0		.0		.0			
	東海	.0	.2	.1	.1	2.7	.0	.0	.0	.2		.0				.0	.1		
	近畿	.0	.0	.1	.1	2.1	.0	.0	.0	.2	.0	.0		.1	.0		.0		
中国四国	.0	.2	.1	.3	3.5	.0	.1	.0	.3	.0	.0		.1		.0		.0		
九州沖縄	.0	.3	.2	.3	4.0	.1	.2	.0	.5	.0	.0		.2		.0				

(3.30集計)

- 1) 鳥インフルエンザを除く。 2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。
 3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。 4) オウム病を除く。

